

発疹が出たら

子どもにみられる皮膚の異常には、いろいろなものがあります。多くは重症のものではありませんが、時に緊急の治療が必要なこともあります。呼吸の様子がおかしい、高熱がある、意識がおかしいなどの皮膚以外の症状がある場合は要注意です。



急いで受診

の目安

- ☐ 少し盛り上がった赤い発疹が全身に出てかゆみ強い
- ☐ 呼吸が苦しそう ゼーゼーする呼吸音が聞こえる
- ☐ 圧迫しても消えない赤い斑点（出血斑や紫斑）がたくさん出ている

○アナフィラキシーが疑われるときは、静かに寝かせて足をあげ、救急車を待ちましょう。(P14 参照)

◆◆◆ 解説 ◆◆◆

- アレルギー反応に伴う発疹として、食物や虫刺されなどによるじんま疹があります。多くの場合はあわてることはありませんが、アナフィラキシー（ひどいアレルギー反応）は、すぐに治療することが必要です。食物アレルギーのある子どもで、原因となる食物を食べた後、全身の発疹と呼吸困難が急に出現した場合は重症です。すぐに救急車を呼んでください。
- 出血斑（紫斑）は血管から血液が漏れ出した状態で圧迫しても赤みが消えず、出血しやすい病気の可能性があります。
- 色々な感染症（水痘、風疹、溶連菌感染症、手足口病、突発性発疹等）で発疹が出ます。大部分は、急を要する病気ではありません。翌日、かかりつけ医を受診し病気の経過について説明を受けましょう。スマートフォンなどで写真を撮っておくとよいでしょう。

鼻血が出たら

鼻の粘膜には、細い血管がたくさんあるので、ちょっとした傷などでもよく鼻血が出ます。無意識に鼻をいじって、鼻血を繰り返したり、鼻の中に小さなおもちゃなどの異物が入り出血することもあります。



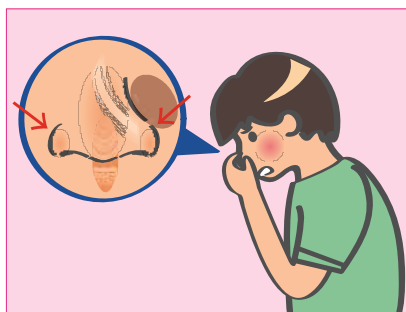
急いで受診

の目安

- ☐ 鼻血が止まらない
- ☐ 顔色が悪い
- ☐ 血液を大量に吐くことを繰り返す
- ☐ 家系に出血しやすい人がいる

◆◆◆ 解説 ◆◆◆

- 上を向かせると鼻血がのどに流れて咳をしたり、飲み込んで吐いたりするので、下を向かせます。
- ごくまれに、血液疾患のために出血しやすい子どもがいます。この場合はなかなか止血しません。



○鼻血を止める方法：座って下を向かせ、小鼻全体を左右からつまんで鼻で呼吸ができない状態で安静にし、15分程度持続的に圧迫しましょう。